

平成 24 年 9 月 19 日の京都府北部の高潮について

<概要>

平成 24 年 9 月 19 日の未明から明け方を中心に、京都府北部の沿岸地域各地で高潮が発生し、舞鶴検潮所では 19 日 03 時 55 分に 97 センチ（瞬間値）^{*}の潮位を観測しました。この高潮により、舞鶴市で 1 棟が床上浸水したほか同市や宮津市で多数床下浸水するなどの被害が発生しています。

^{*}この値は瞬間値です。一方、過去最高潮位は 93 センチ（1998 年 9 月 22 日）ですが、この値は実測値から副振動や波浪などの要素を取り除いた値（平滑値）であり、この平滑値による今回の最高潮位は 89 センチとなります。

<要因>

今回の高潮は、以下に挙げる複数の要因が重なった結果、平常（天文潮位）より 50 センチ程度高い潮位が観測されたと推察されます。

1. 通常、夏から秋にかけては 1 年を通して気圧が低く、また、表層水温が高い時期である。このため、天文潮位が 1 年で最も高くなる。特に今年は、西日本の沿岸では 8 月の月平均表層水温が最近 5 年間の同月の平均に比べ 1℃ほど高かったため、山陰から近畿地方北部にかけて 8 月の月平均潮位は例年に比べて 5～10 センチ高く、その状態は 9 月に入ってからも継続していた。
2. 9 月 14 日から 20 日にかけては大潮の時期で、満潮時間帯の潮位が高くなっていた。
3. 台風第 16 号及びその台風から変わった温帯低気圧の日本海通過に伴う南～南西風により、エクマン輸送（北半球では、風下に向かって右 90° 方向に海水が輸送される現象）が発生し、日本海沿岸地域で 10～20 センチの潮位上昇が発生した。
4. 台風第 16 号により山陰西部沿岸地域で発生したとみられる潮位上昇が、陸棚波（陸に沿って伝わる波の一種。日本海側では西から東に伝搬する。）として京都府北部沿岸地域にも伝搬してきたとみられる。

<被害状況（19 日 09 時現在 京都府調べ）>

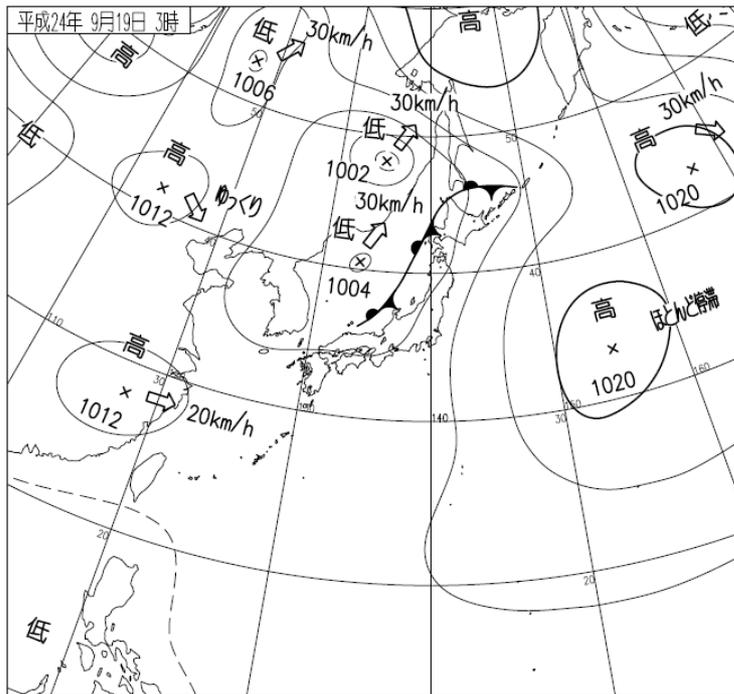
床上浸水：1 棟（舞鶴市）

床下浸水：87 棟（舞鶴市 84 棟、宮津市 3 棟）

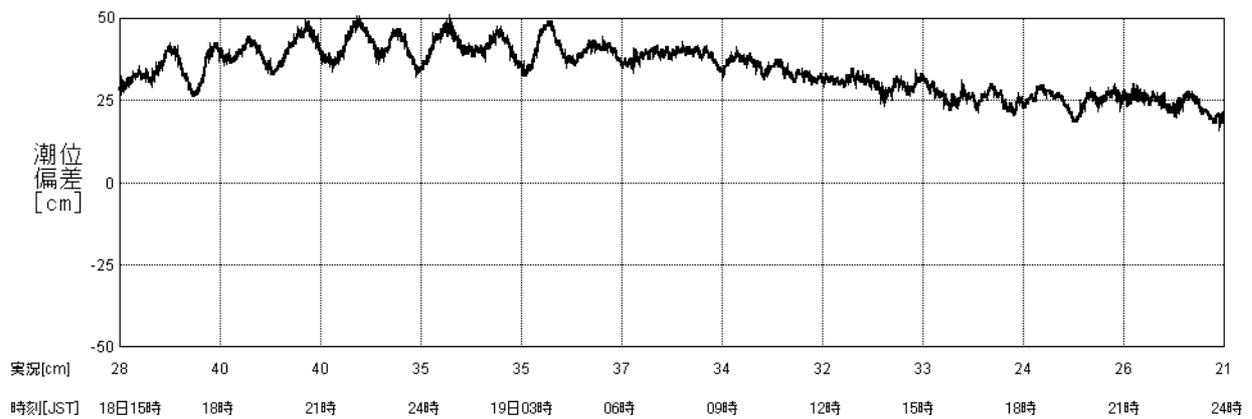
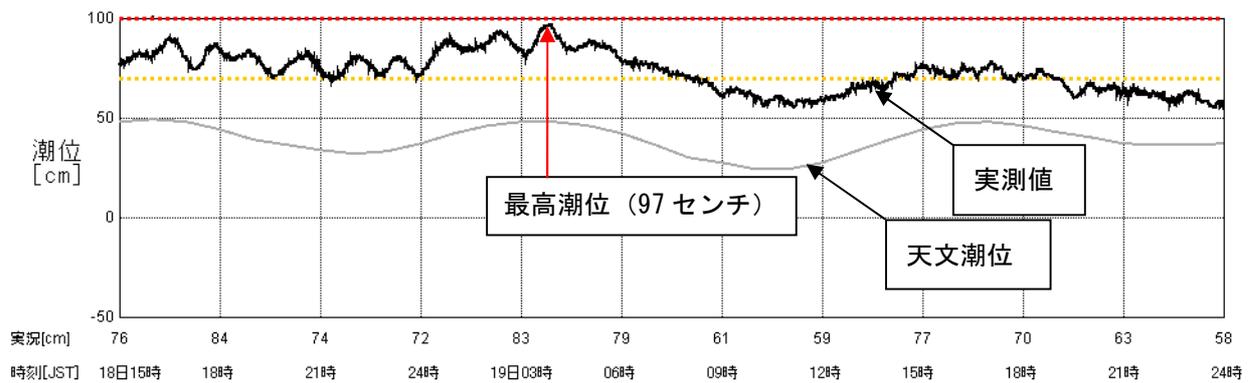
道路冠水（京都府管理）：6 路線（舞鶴市 3、京丹後市 2、宮津市 1）

^{*}その他、市町村管理の道路では、舞鶴市や与謝野町などで多数冠水が発生している模様

<地上天気図：19日03時>



<舞鶴検潮所における潮位観測記録>



平成24年9月18日15時から19日24時までの、舞鶴検潮所における潮位及び潮位偏差の変化を示す。上段は潮位（標高）、下段は潮位偏差（実測潮位と天文潮位の差）。上段の図の赤点線は高潮警報基準、黄点線は高潮注意報基準。

<高潮警報・注意報の発表状況（京都地方気象台発表）>

（9月18日～19日の発表分を掲載）

●:発表 ▼:警報から注意報 ○:継続 解:解除

発表時刻	警報・注意報	舞鶴市	宮津市	京丹後市	伊根町	与謝野町
2012/9/18 10:22	高潮注意報	●	●	●	●	●
2012/9/18 19:51	高潮注意報	○	○	○	○	○
2012/9/19 1:02	高潮警報	●	●			●
	高潮注意報			○	○	
2012/9/19 5:38	高潮注意報	▼	▼	○	○	▼
2012/9/19 20:28	高潮注意報	○	○	○	○	○

<地方潮位情報の発表状況（舞鶴海洋気象台発表）>

9月14日11時00分：

北陸から山陰にかけての大潮による高い潮位に関する地方潮位情報 第1号

<府県潮位情報の発表状況（京都地方気象台発表）>

9月14日11時10分：

大潮による高い潮位に関する京都府潮位情報 第1号

（注）この資料は速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

【本件に関する問い合わせ先】

京都地方気象台防災業務課：075-841-3006

舞鶴海洋気象台海洋課：0773-76-4115